

しみんけんきゅうニュース

発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3
<http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>



【目次】	P6 主担研究員コラム
P2 TOPICS	P7 市民研究所通信
P3 各チーム活動報告	P8 3・4月行事予定
P4-5 マイ食器啓発 AT	

2/8にメイスシアターで行われた吹田市主催の環境教育フェスタにおいて、当プラザの展示と同時開催で環境学習発表会の動画・展示を行いました。



まちなか水族館
自然観察会
市環境部
アジェンダ 21
ヒメボタルの会
すいたん
市民環境会議



大和大学 大阪学院大学 生協 関西電力 大阪ガス
森林組合 市水道部 JR貨物 (上写真)
他 ガールスカウト イズミヤ 環境事業協会
キャンドルロール タクマ ニューメディカテック
(敬称略)



TOPICS

市民研究所 研究実践発表会

12月7日、市民研究所・研究実践発表会に参加しました。

市民研究員の日頃の活動や研究の内容、成果がわかりやすく紹介され、たくさんの方々が熱心に聞き入っておられました。

今回の発表会に参加された環境スクールの皆さんや、環境問題に関心を持つ方々が、今後私たちと一緒に環境保全活動に関わってくださったら、少しでも環境が改善されるのではないかと期待します。

また今回、Google フォームでのアンケートが実施され、参加者の声がスマホから簡単にリアルタイムで届き、ペーパーレスでスマートな発表会となっていました。

〈 市民研究員 林裕加吏 〉



くるくるキッズ環境スクール第6回講座&閉校式 報告

12月21日に、くるくるキッズの最後の第6回講座と閉校式がありました。

SDGs 啓発 PT により、【食品ロスを知ろう！】とのテーマで、お野菜クイズと『食品ロスカードゲーム』が行われ、「楽しみながら学びました。」との感想も寄せられました。

続いて、環境事業協会により【衣料ロス】について、江戸時代の生活の紹介と、着物の端切れを使っただの素敵なメッセージカード作りもしました。閉校式では、自分達で牛乳パックから作った紙の修了証と記念品をもらい、笑顔の子ども達でした。

環境スクールで学んだことを実践してくれることを願っています。

〈 市民研究員 井上道代 〉



プロジェクトチーム (PT)・アクションチーム (AT) 活動報告

市民とお店をエコでつなぐ PT

出前講座では新たにプラごみ削減すごろくゲームを始めました。ゲームを通じて、身の回りのどんなところにプラスチックが使われているかを知ってもらい、プラごみによる問題と削減の重要性を学んでもらいました。講座を重ねるにつれて課題も出てきますので、改善していきます。

吹田ごみゼロシステム研究 PT

チームの代表者が病氣療養のため、主担研究員と他のメンバーでカバーしています。定例会では、研究実践発表会や助言書からの意見を踏まえ、各々のテーマの繋がりが分かるように工夫していきます。また、他チームへブログへの投稿を再度要請するところや見学予定のエコノバ視察を他チームにも声掛けしていくこと等を話し合いました。

身近な環境を調べよう PT

チームのInstagramを開設しました。吹田の自然など調査していることを発信していきますので、応援、フォローをよろしくお願いします。→



SDGs 啓発 PT

令和7年度から新加入される4名の方へのフォローとして、お試し定例会やお試し出前講座を実施しました。また、新たなワークショップ(3Rカードゲーム)についての構想を検討しました。

手作りおもちゃと環境 AT

3:19 秒辺り お見逃しなく!

2月は環境出前講座へ4つの学校へ行きました。来年度もメンバーの体調も気にかかけつつ、活動していきたいと思います。WCDのYouTube動画、チラッと映ってます。→ → →



紙すき体験と環境 AT

来年度に向かって、紙すきと環境アクションチームはより一層一致団結し、NEWフェイスの皆さんと新しい事にもチャレンジしていきます。活動が楽しく出来るよう事務局も協力していきます!

マイ食器啓発 AT

来年度は作製したマイ容器で実際にテイクアウトは可能か?チャレンジしてみようと思います。

マイ食器が出来るまで…。

マイ食器啓発アクションチーム

2024年マイ食器啓発アクションチームではマイ食器作製を目標に活動を進め、初めてのクラウドファンディング！試行錯誤しながらも皆さまからの愛あるご支援・ご協力により、何とか昨年10月にくるくるプラザオリジナルマイ容器が完成しました。インスタントラーメンを水からレンジで作ってみたり、蒸し野菜などでヘルシーな食事を楽しんだり、いろいろと試してみました。未だ、この容器を持ってテイクアウトを試みたことがなく…おおさかほかさんマップにもマイ容器持参で提供を受けれるお店が吹田市にはないこと、コンビニのおでんのテイクアウトに使ってみたり、今後試してみたいと思っています。先日、環境スクール受講生とお話する機会があり、旅行へ行く際に折り畳める容器を持って行き、ケーキ屋さんでアップルパイなどを購入する際に持参した容器に入れてもらうそうです。私も試してみようと思いました。ケーキはかさばるので大きな容器が必要になりそうですが、パイやシュークリームなどはありますか？ トライしてみます！



昨年に続き、“ロハスフェスタ”へ参加させていただきました。2024年11月1日(金曜日)・2日(土曜日)に出展予定でしたが、金曜日は雨、土曜日は荒天で中止になりました。



ブースも昨年の4倍もの広さで出展。雨の中、片付けるのも大変でした。次の日から数日は肩がついた状態でツラかったです。でも出展を共に頑張ってくれたチームメンバーはどんな時もプラス思考で支えてくれています。お客様が少ないことで会場を見て回れると散策し、マイ容器を持ってきていたのでランチにオムライスを買って行って食べていました。楽しんでもらえたようでよかったです。次回は来年も同じ時期に出展予定なので、チームメンバーでマイ食器持参啓発活動を頑張っていきたいと思います。

12月15日、くるくるプラザのイベント“くるくるクリスマス”で豚汁の提供に挑戦しました。私が大昔に“ゆきんこ”といって、子ども会で雪山へ行き、豚汁を食べた記憶が…。保護者の方が持ち寄った食材を入れた闇鍋に等しい闇豚汁！これを再現とまではいきませんが、チームの皆さんと計画に時間をかけて本番に挑みました。皆さまからご提供いただいた食材を使って具だくさんの豚汁ができあがり、前日の仕込みはひたすら食材をカット、当日は慣れない作業をテキパキこなし、問題なく提供できていました。『忙しかったけど楽しかった』と言っていただけでグッときました。

くるくるクリスマス
今年は豚汁(うどん) 限定
50食



B棟4階 パーラーにて

昨年のカレーに続き第2弾は豚汁を販売します。豚汁とごぼん、ふりかけをご用意してお待ちしています。豚汁うどんもどきます！ぜひご賞味くださいませ～

豚汁の食材はご提供いただいたモノを使い、ネギはくるくるガーデンで育てた無農薬ネギをトッピングとして提供しました。



環境スクールで学びに行った講座、エコクッキングで出汁をとった後のかつお節でふりかけを作りました。その経験を皆さまへも広める機会をと、採りたての大根に付いていた立派な大根葉を刻んだモノを混ぜてふりかけを作りました。



容器が大きめなので、100人分を作りました。量をごまかす手段はこれしかない！と、うどんを入れる、“豚汁うどん”です。便利な世の中、冷凍うどん1人分が半分にパカッと割れるモノが売っているのです。まさかのうどんに味噌汁碗を持参してくれていたお客様はそのうどん半玉を更に2つに分けて入れる。作製したマイ容器のことばかり考えていた発想で…お客様には申し訳ないことをしてしまいました。でも召し上がられた方には好評で、1日限りの食堂は思い出に残る経験ができました。



最近、家電量販店へ行った際に↑こんなボタンがあることに驚きました！ インスタントラーメンのボタンです。これを押すとラーメンができるのです。水からラーメンを作れる、ガス無し簡単料理に最適なくるくるプラザの容器をぜひ皆さまも使ってみてください。



水からラーメン作ってみたよーと、野外イベントで食事したよーと報告いただけました。容器を実際に使ってみてのアンケート調査を行い、今後はこの容器をもっと知っていただくために使い捨て容器を減らしていけるように啓発活動が続けていきたいと思います。くるくるプラザで販売しております。ご希望の方には郵送対応可能です。一緒にできることから行動しましょう(^^) / < 事務局 浅野 >



吹田かもフェスタ 2025

主催研究員 黒田 勇

I. 140年前の鴨密猟事件

釈迦ヶ池での鴨の「密猟事件」は、一昨年秋に本研究所のサロンでお話をしてから大きく展開しています。

まずは復習です。「大阪府島下郡小路村（現吹田市岸部北）にある禁猟の釈迦ヶ池で、神戸に滞在していたドイツ皇帝（プロイセン国王ヴィルヘルム1世）の孫、ハインリッヒがお供を連れて鴨猟をした。七尾村の井田元吉がそれを発見、皇子を殴打し、プロイセン王国側が日本に抗議、外交問題に発展した」というのが通説です。

関西大学山中敬一名誉教授による『プロイセン皇孫日本巡覧と吹田遊猟事件』（成文堂刊、2022年）によれば、釈迦ヶ池で見張り番をしていた井田元吉とハインリッヒ一行がトラブルになりますが、ハインリッヒ一行は駆け付けた警察官の尋問にも名乗らず神戸に帰ります。ところが、翌日ドイツ側は皇孫に対する「不敬」と「治外法権」を主張して日本政府に抗議し、外務卿井上馨の命令により吉志部神社と大阪府庁で「謝罪式」が行われました。

II. シンポジウム「ハインリッヒが撃った鴨」

復習が長くなりましたが、ここからは現代の話です。昨年の初夏に、私の友人の研究者たちでハインリッヒの事件が話題となり、吹田の歴史や自然の話などで盛り上がりました。

そして昨年9月に本研究所も共催し、吹田の歴史と自然を考える「ハインリッヒが撃った鴨」というシンポジウムを開催、山中敬一教授の話聞き、吹田名産のクワイなど作る平野紘一さん、市民研究員の岡本陸奥夫さん、吹田野鳥の会会長の平軍二さんなどが吹田の自然や食材について熱く語りました。

そして、次のステップへと急速に進むことになりました。この「ハインリッヒの鴨」をメディアとして、いくつかのメッセージを発信していく動きが生まれたのです。

吹田は、南部の古い町と北部のニュータウンを抱えて、いわば「南北問題」が存在します。南北の境界付近にある釈迦ヶ池の歴史、「ハインリッヒの鴨」を通して、歴史も自然も豊かな「私たち吹田」を語ろうという試みです。

もう一つ、吹田はかつて鴨鍋を出す店も多かったことから、「ハインリッヒの鴨」で「グルメの町吹田」を復活させようという企てです。鴨鍋だけでなく、鴨ローストや鴨なん喬麦など、吹田の飲食店で、「ハインリッヒの鴨」料理でつながろうというわけです。

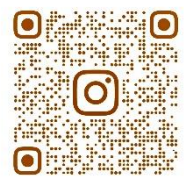
III. 「吹田かもフェスタ」の開催へ

吹田市全体で「ハインリッヒの鴨・フェスタ」をやろうという前のめりの方もでてきましたが、まず、「ハインリッヒの鴨」の話が面白いと思った飲食店で、好きなように鴨料理を出しておしゃべりをしようということになりました。

「ハインリッヒって知っている？」から始まり、「吹田って鴨がいっぱいいたんだよ」とか「むかしは鴨鍋で有名だったらしい」とか、さらには「自然豊かな吹田を歩いてみよう」とか、吹田市民のそんな楽しいコミュニケーションが進むことを期待しています。

名称は『吹田かもフェスタ』として、2月14日～3月9日まで試行的に開催します。このニュースが読まれる頃には、吹田に新しいヒナが誕生しているかもしれません。

(下のQRコードから「参加店紹介」に入れます)



@KAMO.FES

市民研究所通信

昨年4月にくるくるプラザに入職し、環境啓発に関する活動を通じて多くの学びと経験を得ることができました。入職当初は右も左もわからない状態でしたが、先輩職員や市民の皆さんとの関わりを通じて、少しずつ環境問題への理解が深まりました。くるくるプラザでの活動は、単なる知識の習得にとどまらず、地域の皆さんと共に環境問題に取り組む貴重な時間であり、毎日が新たな発見と成長の連続でした。

「吹田ごみゼロシステム研究PT」と「身近な環境を調べようPT」での活動では副担当として多くの場面で関わらせていただきましたが、この活動を通じて、環境問題が私たち一人一人の暮らしにどれほど密接に関わっているかを再認識しました。ごみ問題や地域の環境について調査を進める中で、市民の方々がどれほど日々の生活に配慮しているか、そしてその中でさらに改善できる点は何かを改めて考えることができました。

また、市民の皆さんと直接対話を重ねながら、環境についての意識を高め合うことの重要性を実感しました。環境問題は「知っている」だけでは解決できません。実際に行動を起こすためには、どれだけ多くの人々と意見を交わし、共感を得ることができるかがカギとなります。環境に良いことを「知っている」から「している」へ！

この点において私も皆さんと共に環境に良いことを行動に移していけるよう努力していきたいと思っています。

さらに、ワークショップや出前講座の活動では、参加者の皆さんとの交流を通じて、環境問題に対する関心や熱意がいかに大切であるかを学びました。参加者一人一人が積極的に学び、環境保護の意識を持ち帰っていただけるよう、私自身も日々の準備や進行を工夫しながら取り組んでいきたいと考えています。特に子どもたちや若い世代の方々と接する機会が増え、次世代への環境教育の大切さを痛感しました。

すべての活動において、市民目線での啓発が大切であり、その点を常に意識しながら活動を進めていく必要があると感じています。知識を一方向的に伝えるだけではなく、対話を通じて気づきを得ることができるような活動を今後も続けていきたいと思っています。特に、地域に密着した活動を大切に、これからも市民の皆さんと共に考え、共に行動することが重要だと実感しています。

年度を締めくくるにあたり、これからも「環境」をテーマにした活動を通じて、地域の皆さんと共に成長し、より良い社会を作るために貢献できるよう努めてまいります。環境問題は一人では解決できません。地域社会の力を借りながら、共に持続可能な未来を築いていくために、自分の役割をしっかりと果たしていきたいと考えています。来年度も引き続き、くるくるプラザの活動に精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



(事務局 山川)

研究所 3 月の 予 定

研究所 4 月の 予 定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	土	第12回代表者会議	13:30~プラザ	所長・代表者・事務局
2	日	定例会	13:00~プラザ	手作りおもちゃと環境AT
3	月	休館日		
4	火			
5	水			
6	木	定例会	14:30~プラザ	SDGs啓発PT
7	金			
8	土	くるくるサロン	13:30~プラザ	●
9	日			
10	月	休館日		
11	火			
12	水			
13	木			
14	金	定例会	13:30~プラザ	紙すき体験と環境AT
15	土			
16	日	定例会	10:00~プラザ	市民とお店をエコでつなぐPT
17	月	休館日		
18	火	エコノバ見学	11:30現地集合	ごみゼロシステム研究PT他
19	水			
20	木	休館日		春分の日
21	金			
22	土	定例会	10:00~プラザ	身近な環境を調べようPT
23	日			
24	月	休館日		
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	日			
31	月	休館日		

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	火			
2	水			
3	木			
4	金			
5	土	R7年度市民研究員委嘱状交付式 全体会議及び各チーム定例会	13:00~プラザ	所長・事務局 ・市民研究員
6	日			
7	月	休館日		
8	火	吹田市小学校4年生 施設見学説明会	16:00~ マルチホール	小学校・エネゼン・事業 課 教育委員会・事務局
9	水			
10	木			
11	金			
12	土			
13	日			
14	月	休館日		
15	火			
16	水			
17	木			
18	金			
19	土			
20	日			
21	月	休館日		
22	火			
23	水			
24	木			
25	金			
26	土			
27	日			
28	月	休館日		
29	火	休館日		昭和の日
30	水			

は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。